



地域づくりの会 ひまわり 105 だより

同じ地域の住民同士がお互いを知り合い・地域のことについて話し合う場をつくろう！と地域住民が主体の「地域づくりの会 ひまわり 105」が主催で懇談会を定期的の実施しています。2月1日（木）の懇談会では、地域住民の方・保護者の方・青少協の方・民生委員・学校関係者・ボランティア従事者・福祉関係者などが参加され、立上げから7年を振り返り、今とこれからを話し合いました。

■「地域づくりの会」立上げの背景

平成15年頃から、清瀬市では、自治体加入率の低下や顔を合わせる機会の減少等を課題ととらえ、小学校区ごとに円卓会議を立ち上げてきました。清瀬市社協でも第3次清瀬市民地域福祉活動計画において孤立のない地域づくりが必要と考え、清瀬市とともに検討を始めました。

そして、平成28年から十小校区で地域づくりの会立上げに向けた準備が始まりました。

十小地域づくりの会のこれまで

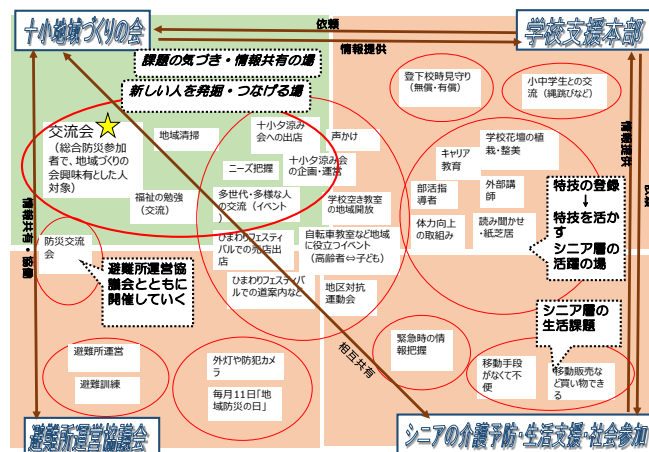
- ・平成28年6月第1回十小地域づくりの会開催
- ・地域課題についての話し合い
- ・十小地区盆踊り大会への出店
- ・五中生徒会・青少協主催地域清掃への参加
- ・登校時の見守り活動
- ・学習会の開催
- ・鶴ヶ島市地域支えあい協議会の視察
- ・防災イベントの開催
- ・清瀬市総合防災訓練への参加 など...

■この地域への思い

- ・地域で「程よい距離で」見守る関係が大事
 - ・地域での役割・居場所が必要
 - ・子ども達が戻ってきたいと思える地域に
 - ・食を通じたつながりの場があるとよい
 - ・増加する空き家の対策も必要
 - ・つながりうる資源や人の開拓が必要 など
- その他にも、夜間帯など専門機関の窓口時間外に困っている人を見かけた時の対応や分野を超えて横ぐしを刺していく必要性などの意見もありました。

■さまざまな会議体や活動の発展

- 避難所運営協議会
- いきいき会議
- 学校支援本部
- 青少協 などなど...



「防災」「高齢者」「教育」などそれぞれの分野でも、地域を基盤として課題に取り組んでいくことが重要ととらえ、様々な会議体や組織がこの地域に立ち上がってきました。また、これから「コミュニティスクール」も立ち上がる予定です。分野は違いますが、地域のみんなが連携・協力して、「この地域を良くするため」の取り組みを進めたいという思いは同じです。

■よりよい「十小」「五中」地域に向けて

例えば、災害時には自分たちで支え合う必要があります。コミュニティの基盤が大事になってきます。今「ひまわり105」に求められることは何か、次回も引き続き話し合いをしていきます。

- 【次回テーマ】▶地域づくりの会のあり方
▶年間計画、検討部会 など

次回の「地域づくりの会 ひまわり105」は3月27日(水)10:00～清瀬第十小学校 けやきルームにて開催されます！どなたでも参加できますのでぜひ、おいでください♪

主催 地域づくりの会 ひまわり 105

協力 清瀬市地域振興部市民協働課 (☎497-1803)・清瀬市社会福祉協議会 (☎495-5333)